

平成 30 年 2 月 13 日

各 位

東京都江東区木場一丁目5番25号
サムシングホールディングス株式会社
代表取締役社長 前 俊守
(コード番号：1408)

問合せ先：
上席執行役員管理本部長 東 剛史
(電話番号：03 - 5665 - 0840)
(<http://www.sthd.co.jp/>)

平成 29 年 12 月期 通期 (連結・個別) 業績予想と実績の差異及び剰余金の配当
に関するお知らせ

平成 29 年 12 月期(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)の、連結につきましては平成 29 年 11 月 14 日付「平成 29 年 12 月期 第 3 四半期決算短信」にて公表しました業績予想と、個別につきましては平成 29 年 2 月 14 日付「平成 29 年 12 月期 決算短信」にて公表しました業績予想と、実績の差異、並びに剰余金の配当に付きまして、下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 平成 29 年 12 月期 通期 連結業績予想と実績の差異

(1) 平成 29 年 12 月期 通期 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1 株当たり当 期純利益(円)
前回発表予想 (A) (平成 29 年 11 月 14 日発表)	10,716	130	109	6	1.59
今回発表予想 (B)	10,599	162	128	24	5.96
増減額 (B-A)	△116	32	19	17	—
増減率	△1.1%	24.7%	17.6%	275.4%	—

2. 通期 連結業績予想と実績の差異の理由

当事業年度の営業利益・経常利益につきましては、株式会社サムシングにおけます自社稼働率向上の取組み、他グループ各社の営業努力が奏功し前回(平成 29 年 11 月 14 日)発表した予想数値を上回る見込みであります。

そして、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、平成 29 年 10 月 23 日適時開示の通り連結子会社間の合併に伴い、税額減少が発生し前回(平成 29 年 11 月 14 日)発表した予想数値を上回る見込みであります。

ご注意 本資料に掲載されている業績予想は、当社が発表日現在において入手可能な情報をもとに当社が合理的に判断したのですが、不確実性を含んでおり、その内容を当社として保証するものではありません。実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

3. 通期 個別業績予想と実績の差異

平成 29 年 12 月期 通期（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1 株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想 (A) (平成 29 年 2 月 14 日発表)	582	15	15	3.69
今回発表予想 (B)	585	85	79	19.22
増減額 (B-A)	2	70	63	—
増減率	0.5%	452.4%	420.5%	—

4. 通期 個別業績予想と実績の差異の理由

当事業年度の経常利益・当期純利益につきましては、販管費及び一般管理費における各種費用削減を取り組みした結果、前回（平成 29 年 2 月 14 日）発表した予想数値を上回る見込みであります。

5. 剰余金の配当（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）

	決定額	直近の配当予想 (平成 29 年 2 月 14 日公表)	前期実績 (平成 28 年 12 月期)
基準日	平成 29 年 12 月 31 日	同左	平成 28 年 12 月 31 日
1 株当りの配当金	0 円 00 銭	未定	0 円 00 銭
配当金の総額	0 円 00 銭	未定	
効力発生日		未定	
配当原資		未定	

6. 理由

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営課題の一つとして認識し、将来の事業展開と経営体制の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、期末配当として年 1 回の剰余金の配当を行うことを基本方針としてまいりました。

しかしながら、平成 29 年 2 月 14 日公表させて頂きましたとおり、平成 28 年 12 月期につきましては、利益水準、今後の経営環境、財務体質、内部留保の状況等を総合的に勘案し、未定とさせて頂きました。

この度、平成 29 年 12 月期個別業績の当期純利益が 79 百万円の見込みとなります。しかしながら、グループ全体の将来の事業展開と、経営体質・財務体質強化の観点より、誠に遺憾ながら、平成 29 年 12 月期の剰余金の配当につきましても引き続き見送ることといたしました。

以上

ご注意 本資料に掲載されている業績予想は、当社が発表日現在において入手可能な情報をもとに当社が合理的に判断したのですが、不確実性を含んでおり、その内容を当社として保証するものではありません。実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。